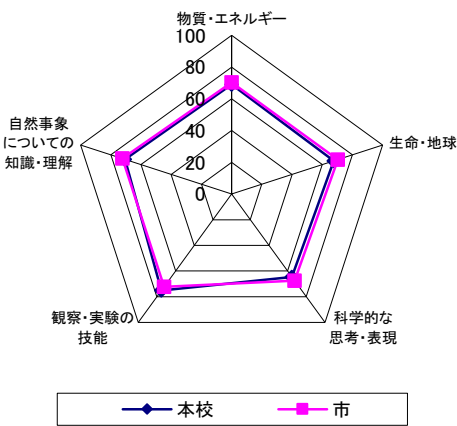


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	69.0	70.3	69.0
	生命・地球	67.7	70.4	70.2
観点別	科学的な思考・表現	64.6	67.5	66.4
	観察・実験の技能	75.1	72.3	68.9
	自然現象についての知識・理解	70.6	72.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「ふりこの周期はふりこの長さに依存することを理解し、同じ周期になることを指摘する」問題の正答率は77.4%で、市の正答率を5.2ポイント上回った。 ○「リトマス紙につけたときの色の変化から、液性を指摘する」問題の正答率は74.6%で、市の正答率を6.5ポイント上回った。 ○「電磁石の導線の巻き数を多くすると、電磁石のはたらきが大きくなるのがわかる」問題の正答率は88.8%で、市の正答率を3.6ポイント上回った。 ○「二酸化炭素と反応して白くにごる液体を、石灰水ということを理解する」問題の正答率は78.4%で、市の正答率を2.8ポイント上回った。 ●「水に溶けた物の取り出し方について理解している」問題の正答率は36.6%で、市の正答率を13.1ポイント下回った。 ●「水溶液の水を蒸発させることで、水溶液に固体がとけているかどうかを調べることができる」問題の正答率は53.7%で、市の正答率を11.3ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ●水溶液の性質では、塩酸や炭酸水など気体の溶けているものや食塩などの固体の溶けているものを蒸発させる実験からそれぞれの特徴をグループや学級全体で話し合うようにする。また、実験の結果から分かることを自分の言葉で表現できるようにする。 ●水に溶けた食塩やヨウバンを取り出す実験では、ろ過や蒸発など、水溶液の温度と水の中に溶けている量の関係を確かめるようにする。
生命・地球	○「セロリのくきで、水が通る部分を考えることができる」問題の正答率は62.7%で、市の正答率を6.4ポイント上回った。 ○「太陽にだけ見られる特徴を理解している」問題の正答率は94.0%で、市の正答率を5.0ポイント上回った。 ●「腎臓のはたらきを理解している」問題の正答率は64.9%で、市の正答率を3.8ポイント下回った。 ●「生物どうしの食べる・食べられるの関係の説明を改善する」問題の正答率は69.4%で、市の正答率を7.8ポイント下回った。 ●「月と太陽の位置関係から、俳句がよまれたときの情景を推測することができる」問題の正答率は55.2%で、市の正答率を1.2ポイント下回った。	●人の体のつくりを人体模型で確認したり、腎臓のはたらきを本やコンピューターで調べたりする時間を十分に与えるようにする。 ●生物どうしの食べる・食べられるの食物連鎖の関係を身近な生き物を例にして図や絵にしてグループで話し合うようにする。 ●月と太陽に関する問題については、月の左右のどちら側に光が当たっているのかを考えさせ、校庭で月の動きの観察を定期的に行い、月と太陽の位置関係実験機を使って規則性に気付かせる。月齢カレンダーや新聞の記事なども活用するようにする。